

国土交通大臣登録試験

# 鉄道設計技士試験

受験案内

2020 年度

公益財団法人鉄道総合技術研究所

鉄道技術推進センター

## 目次

1. 鉄道設計技士試験の概要	- 1 -
1.1 目的	- 1 -
1.2 試験日時および場所	- 1 -
1.3 受験の申請	- 2 -
2. 受験資格	- 3 -
3. 試験方法および合否判定	- 4 -
3.1 試験方法	- 4 -
3.2 合格基準および合否判定	- 5 -
4. 試験科目免除制度	- 5 -
4.1 試験科目免除制度の適用	- 5 -
4.2 試験科目免除制度の特例	- 6 -
5. 受験申請方法	- 7 -
5.1 提出書類	- 7 -
5.2 受験料の納付	- 9 -
5.3 各書類の記入方法	- 10 -
(1) 受験申請書 (必須)	- 10 -
(2) 主な業績記載用紙 (必須)	- 11 -
(3) 実務経験経歴証明書 (2017 (平成 29) ~2019 年度に提出されている方は不要)	- 12 -
(4) 卒業証明書 (実務経験年数が 12 年以上または 2017 (平成 29) ~2019 年度に提出されている方は不要)	- 14 -
(5) 振込明細貼付台紙 (必須)	- 14 -
(6) はがき貼付台紙	- 14 -
(7) 提出書類のチェックリスト (必須)	- 14 -
5.4 受験申請書類の送付	- 15 -
5.5 受験票・写真票	- 15 -
6. 受験申請後の注意事項	- 16 -
7. 試験当日の注意事項	- 16 -
8. 合格発表	- 18 -
9. 合格後の手続き	- 18 -
9.1 合格証明書の交付および名簿の登録手数料の納付	- 18 -
9.2 合格者公開名簿の発行	- 18 -
10. 不合格になった方への注意事項	- 18 -

## 2020 年度鉄道設計技士試験の受験資格について

鉄道設計技士試験の受験資格は、大学、短期大学、高等学校などの学歴に応じ必要な実務経験年数が定められていますが、学校教育法により**これらの学校を卒業した者と同等以上の学力を有すると認められた者**に対しても相当する受験資格が付与されます。詳しくは3ページ「2.受験資格」をご覧ください。

## 1. 鉄道設計技士試験の概要

### 1.1 目的

鉄道設計業務を総合的に管理できる技術能力を客観的に証明することにより、鉄道技術全体の向上を図ります。

### 1.2 試験日時および場所

#### (1) 試験日

2020年10月25日(日)

#### (2) 試験時間

試験時間は以下の通りです。

試験科目	試験時間	着席時刻
共通試験	9時00分～10時30分	8時45分
専門試験Ⅰ	11時00分～12時30分	10時50分
専門試験Ⅱ(論文)	13時30分～17時00分	13時15分

#### (3) 試験地

①東京会場：東洋学園大学 本郷キャンパス(東京都文京区本郷1丁目26番3号)



- ・東京メトロ丸ノ内線「本郷三丁目」駅  
1番出口より徒歩4分
- ・都営大江戸線「本郷三丁目」駅  
3番出口より徒歩6分
- ・東京メトロ丸ノ内線「後楽園」駅  
1～3番出口より徒歩7分
- ・東京メトロ南北線「後楽園」駅  
1～3番出口より徒歩7分
- ・都営三田線「水道橋」駅  
A6番出口より徒歩3分
- ・JR総武線「水道橋」駅  
東口より徒歩7分

② 大阪会場：大阪市立大学 杉本キャンパス(大阪府大阪市住吉区杉本3-3-138)



- ・ JR 阪和線「杉本町」駅下車、東口すぐ
- ・ 地下鉄御堂筋線「あびこ」駅下車、④号出口より南西へ徒歩約 20 分

(注意) 両試験会場とも、構内やその周辺では駐車・駐輪できませんので、車や自転車でのご来場はご遠慮下さい。

**試験会場は変更となる場合があります。変更となった場合には受験票および鉄道設計技士試験のページ (<https://www.rtri.or.jp/gishi/>) にてご案内いたします。**

### 1.3 受験の申請

#### (1) 受付期間

2020年6月10日(水)～2020年7月7日(火)

**※ 郵送による場合は、7月7日(火)の消印があるものまで有効です。**

**提出書類に不足があった場合や受付期間を過ぎて申請した場合には、受理いたしませんので、十分余裕を持って申請を行って下さい。**

#### (2) 申請方法

受験申請は、郵送または試験事務局の窓口にて受け付けます。郵送による場合は、2020年7月7日(火)の消印があるものまで有効です。

#### (3) 提出先

公益財団法人鉄道総合技術研究所 鉄道技術推進センター 鉄道設計技士試験事務局  
〒185-8540 東京都国分寺市光町 2-8-38

電話：NTT 042-573-7237 JR 053-7237

窓口の受付時間：10:00～12:00、13:00～17:00 (土・日曜日、祝日を除く。)

## 2. 受験資格

次に掲げるいずれかに該当する方が受験できます。年齢制限はありません。また、学校教育法(昭和 22 年法律第 26 号)の規定により、(1)～(3)の各号に掲げる学歴と同等以上の学力を有すると認められた者にあつては、相当する学歴に応じて各号の規定を適用します。

- (1) **大学（短期大学を除く。）を卒業した者**であつて、設計に関する業務(受験する試験区分の専門分野に限る。)に従事した期間(所属法人等の保守部門、工事部門または研究部門における設計対象に係わる業務の経験年数を含める。)が **5 年以上**の者
- (2) **短期大学又は高等専門学校を卒業した者**であつて、設計に関する業務(受験する試験区分の専門分野に限る。)に従事した期間(所属法人等の保守部門、工事部門または研究部門における設計対象に係わる業務の経験年数を含める。)が **7 年以上**の者
- (3) **高等学校又は中等教育学校を卒業した者**であつて、設計に関する業務(受験する試験区分の専門分野に限る。)に従事した期間(所属法人等の保守部門、工事部門または研究部門における設計対象に係わる業務の経験年数を含める。)が **9 年以上**の者
- (4) **旧日本国有鉄道中央鉄道学園大学課程を卒業した者**であつて、設計に関する業務(受験する試験区分の専門分野に限る。)に従事した期間(所属法人等の保守部門、工事部門または研究部門における設計対象に係わる業務の経験年数を含める。)が **6 年以上**の者
- (5) 設計に関する業務(受験する試験区分の専門分野に限る。)に従事した期間(所属法人等の保守部門、工事部門または研究部門における設計対象に係わる業務の経験年数を含める。)が **12 年以上**の者

(注) 同等以上の学力を有すると認められた者とは以下の方が該当します。該当の方は、受験申請時に学校等から発行される証明書の添付が必要となります。詳しくは、試験事務局までお問い合わせ下さい。

### ○ 大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者（学校教育法施行規則第 155 条第 1 項）

- ・ 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者
- ・ 専修学校の専門課程（修業年限 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）を修了した者
- ・ 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者 など

### ○ 短期大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者（学校教育法施行規則第 155 条第 2 項）

- ・ 専修学校の専門課程を修了した者のうち大学に編入学することができる者
- ・ 外国において、学校教育における 14 年の課程を修了した者 など

### ○ 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者（学校教育法施行規則第 150 条）

- ・ 専修学校の高等課程（修業年限 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）を修了した者
- ・ 高等学校卒業程度認定試験（旧大学入学資格検定を含む。）に合格した者
- ・ 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者 など

### 3. 試験方法および合否判定

#### 3.1 試験方法

受験者が鉄道設計業務に関して、十分な経験に基づいた高度な管理能力、および必要な知識を有することを確認するため、筆記による試験を実施します。

(1) 試験区分：鉄道土木、鉄道電気、鉄道車両

(2) 試験科目ごとの出題範囲（カッコ内は出題形式および配点）

試験科目		範囲
共通試験 (全試験区分共通)		1) 鉄道営業法および鉄道事業法等の技術に関する法令 <sup>(注)</sup> の基礎的知識 2) 鉄道土木、鉄道電気および鉄道車両の技術に関する基礎的知識 ①鉄道土木、鉄道電気、鉄道車両の常識的な内容および近年話題となっている新技術等の問題 ②簡単な計算問題 (正誤式、語群選択式または穴埋め式、150点)
専門試験Ⅰ (各試験区分別)		各試験区分における専門的な知識 1) 鉄道土木：鉄道計画、線路、鉄道構造物、停車場、その他鉄道土木に関する事項 ①鉄道土木における専門的知識および近年話題となっている新技術等の問題 ②鉄道営業法および鉄道事業法等の技術に関する法令 <sup>(注)</sup> の土木設備・施設に関する内容の問題 ③簡単な計算問題 2) 鉄道電気：送配変電設備、電車線設備、信号設備、通信設備、その他鉄道電気に関する事項 ①鉄道電気における専門的知識および近年話題となっている新技術等の問題 ②鉄道営業法および鉄道事業法等の技術に関する法令 <sup>(注)</sup> の電気設備・施設に関する内容の問題 ③簡単な計算問題 3) 鉄道車両：電車、機関車、気動車、客車、貨車、その他鉄道車両に関する事項 ①鉄道車両における専門的知識および近年話題となっている新技術等の問題 ②鉄道営業法および鉄道事業法等の技術に関する法令 <sup>(注)</sup> の車両設備に関する内容の問題 ③簡単な計算問題 (正誤式、語群選択式または穴埋め式、150点)
専門試験Ⅱ (論文)	業績 (全試験区分共通)	各自の業績を通じて、技術的な判断能力、問題解決能力を問う (801字以上1,600字以内(図、表を除く)) (記述式、60点)
	見識 (各試験区分別)	技術的課題に対する鉄道技術者としての見識を問う (801字以上1,600字以内(図、表を除く)) (記述式、60点)

(注) 法令に関しては「鉄道に関する技術上の基準を定める省令の解釈基準」等の通達を含む。

#### 注意事項

**専門試験Ⅱ(論文)の業績論文で取り上げる業績は、受験申請書の「主な業績」欄に必ず記入して下さい。記入されていない業績について論じた場合、採点されません。**

### 3.2 合格基準および合否判定

#### (1) 各試験科目の合格基準

##### ① 共通試験・専門試験Ⅰ

共通試験、専門試験Ⅰの得点が各々満点の50%以上、かつ2科目の合計点が満点の60%以上であることを基準として難易度で補正した点数以上の者を共通試験・専門試験Ⅰの合格者とします。

##### ② 専門試験Ⅱ(論文)

専門試験Ⅱ(論文)の得点が以下の基準のいずれかに達している者を専門試験Ⅱ(論文)の合格者とします。

i 業績、見識ともに解答した者のうち、見識の得点が満点の60%以上の者

ii 業績、見識ともに解答した者のうち、見識の得点が満点の50%以上、かつ業績と見識の合計点が満点のおよそ60%以上の者

#### (2) 試験の合否判定

試験の合否判定は、共通試験・専門試験Ⅰ、専門試験Ⅱ(論文)のそれぞれについて行います。ただし、共通試験・専門試験Ⅰが合格基準に満たない場合は、専門試験Ⅱ(論文)の採点は行いません。なお、専門試験Ⅱ(論文)の見識の得点が満点の50%未満の場合は、業績の採点は行いません。

共通試験・専門試験Ⅰと専門試験Ⅱ(論文)の合格をもって、鉄道設計技士試験の合格とします。

## 4. 試験科目免除制度

### 4.1 試験科目免除制度の適用

共通試験・専門試験Ⅰに合格し、専門試験Ⅱ(論文)に合格しなかった場合、共通試験・専門試験Ⅰに合格した翌年度から3年間に限り、申請により共通試験・専門試験Ⅰが免除されます。ただし、3年間の免除期間内に専門試験Ⅱ(論文)に合格できなかった場合、免除期間最終年度の翌年度からは新たに共通試験・専門試験Ⅰから受験することになります。

2020年度に試験科目免除の申請を行う場合は、**2017(平成29)～2019年度までのいずれかの「鉄道設計技士試験の結果」通知はがき(以下「試験結果通知はがき」)の原本**が必要です(コピーは不可)。なお、**試験結果通知はがきを紛失した場合**、「共通試験・専門試験Ⅰ合格証明書交付申請書」(申請書は鉄道設計技士試験のページよりダウンロードが可能。)により**同合格証明書の交付を試験事務局に請求し、同合格証明書を添えて受験申請を行って下さい。**

**※受験票での受付はできませんので、ご注意ください。**

## 4.2 試験科目免除制度の特例

2019 年度の試験科目免除資格のある者が、以下の理由その他の特別な事情により受験できなかった場合、受験申請書の試験科目免除申請欄にチェックを入れ、必要書類を添えて申請することによって、特例として共通試験・専門試験Ⅰが免除されます。詳しくは試験事務局までお問い合わせ下さい。

- ・激甚災害による特例適用

試験科目免除の資格を持っている者が、試験前日または当日に発生した、激甚災害法に基づき激甚災害として政令で指定された災害によって受験できなかった場合に特例を適用します。



## 5. 受験申請方法

### 5.1 提出書類

実務経験年数や過去の受験経歴により提出書類が異なりますので、以下の(1)～(3)のうち該当する記事を参照して、提出物を揃えて下さい。

**受験申請は提出期限までに、試験事務局まで書類を郵送または持参して下さい。**

**提出書類に不足があった場合、提出期限を過ぎて申請した場合、または「2.受験資格」(p.3)を満たさないと判断した場合は受験申請書類を受理せずに返送いたします。再提出する場合でも締切日の繰り下げは行いませんので余裕を持って提出して下さい。**

また、提出された受験申請書類が揃っていても、記載内容に不備がある場合には、事務局から個別にご連絡いたします。その際には、事務局から指定された再提出期限内に受験申請書類を再提出して下さい。期限内に再提出されない場合には、受験申請書類を受理せずに返送いたします。

#### (1) 初めて受験する方

初めて受験する方は該当するページを参照して、提出書類を揃えて下さい。

書類名称		ページ	実務経験年数 12年未満	実務経験年数 12年以上
①受験申請書		p.10	○	
②主な業績記載用紙		p.11	○	
③実務経験経歴証明書		p.12～13	○	
④卒業証明書		p.14	○	×
貼付台紙	⑤振込明細貼付台紙	p.9、p.14	○ 26,000円納付分のコピー	
	⑥はがき貼付台紙	p.14		×
⑦チェックリスト		p.14	○	

[凡例] ○：必要 ×：不要

**(2) 2017(平成 29)～2019 年度までの共通試験・専門試験 I に合格した方(試験科目免除対象者)**

試験科目免除の申請を行うと、今年度の共通試験・専門試験 I が免除されます。

書類名称	ページ	経歴証明書を 2017 (平成 29) 年度以降に提出※	経歴証明書を 2016 (平成 28) 年度以前に提出※	
			実務経験年数 12 年未満	実務経験年数 12 年以上
①受験申請書	p.10		○	
②主な業績記載用紙	p.11		○	
③実務経験経歴証明書	p.12～13	×	○	○
④卒業証明書	p.14	×	○	×
貼付台紙	⑤振込明細貼付台紙	p.9、p.14	○ 16,000 円納付分のコピー	
	⑥はがき貼付台紙	p.14	○ 試験結果通知はがき(原本)を貼付	
⑦チェックリスト	p.14		○	

[凡例] ○：必要 ×：不要

**※試験結果通知はがき裏面の「経歴証明書」欄をご参照下さい。**

**(3) 過去に受験した方で(2)に該当しない方**

2017 (平成 29) ～2019 年度の試験結果通知はがき(原本)をお持ちの方は、試験結果通知はがき裏面の「経歴証明書」欄の記事に応じて一部書類を省略することができます。

書類名称	ページ	経歴証明書を 2017 (平成 29) 年度以降に提出※	経歴証明書を 2016 (平成 28) 年度以前に提出※ または試験結果通知はがき(原本)なし	
			実務経験年数 12 年未満	実務経験年数 12 年以上
①受験申請書	p.10		○	
②主な業績記載用紙	p.11		○	
③実務経験経歴証明書	p.12～13	×	○	○
④卒業証明書	p.14	×	○	×
貼付台紙	⑤振込明細貼付台紙	p.9、p.14	○ 26,000 円納付分のコピー	
	⑥はがき貼付台紙	p.14	○2017 (平成 29) ～2019 年度の試験 結果通知はが き(原本) を貼付	×
⑦チェックリスト	p.14		○	

[凡例] ○：必要 ×：不要

**※試験結果通知はがき裏面の「経歴証明書」欄をご参照下さい。**

## 5.2 受験料の納付

### (1) 受験料（消費税込）

**共通試験・専門試験Ⅰおよび専門試験Ⅱ(論文)の受験者** : 26,000 円  
(5.1(1)および(3)の該当者)

**試験科目免除対象者(専門試験Ⅱ(論文)のみの受験者)** : 16,000 円  
(5.1(2)の該当者)

### (2) 納付方法

- ① 納付の際は、金融機関に備え付けの振込用紙を使用するか、またはATM等（インターネットバンキングも可能。）を使って振り込んで下さい（手数料は受験者負担となります。）。
- ② **振込時の依頼人の欄は、必ず「受験者氏名」に日中連絡の取れる「電話番号」を添え、「総研太郎 0312345678」の要領で記入して下さい。**
- ③ 振込明細コピー（インターネットバンキングの場合は振込明細または入出金明細をプリントしたもの。）を**振込明細貼付台紙に収まるように縮小コピーして貼付して下さい。**

**※提出していただいた銀行の振込明細は、コピーを含め、事務局よりご返却・ご提示はいたしません。コピー等していただき、お手元への保存をお願いいたします。**

### (3) 振込口座

銀行	口座種別	口座番号	口座名
三井住友銀行 国立支店	普通預金	5514334	公益財団法人鉄道総合技術研究所 (カナ表記の場合) ザイ ネットウツコウキジ ユツケンキウソ

### 5.3 各書類の記入方法

受験申請書や実務経験経歴証明書などの書類には所定の用紙を使用し、記入欄に必要事項を記入して下さい(手書きの場合は、**楷書**で記入して下さい。)。なお、記載内容に偽りがあったと認められた場合、受験資格または合格を取り消すことがあります。

#### (1) 受験申請書 (必須)

受験申請書は、以下の例にならって記入して下さい。なお、訂正した箇所には申請者の訂正印を押して下さい。

**※問い合わせをする場合があるため、問い合わせ連絡先には確実に連絡の取れる電話番号を記入して下さい。連絡が取れない場合は受験できないことがあります。**

※コンピュータ処理上、受験票等に表示されている氏名および住所の文字は、原則として、JIS規格(第1水準、第2水準)を使用しますので、JIS規格にない文字はJIS準拠のものに改めることがあります。

・戸籍に登録されている氏名を記入して下さい。

・問い合わせ連絡先は、**確実に連絡の取れる電話番号**を記入して下さい。

・生年月日の年齢欄は、**試験当日(2020年10月25日)時点の年齢**を記入して下さい。

・現住所は、現在の住まいを記入して下さい。**受験票等を送付するため、郵便番号、アパート名、団地名、棟番号、同居先名まで詳しく正確に記入して下さい。**

・試験区分は、「鉄道土木」、「鉄道電気」、「鉄道車両」の中から一つ選んでチェック(☑)して下さい。

・試験区分「鉄道電気」を選択した方は、「強電分野(送配変電設備、電車線設備)」、「弱電分野(信号設備、通信設備)」の中から一つ選んでチェック(☑)して下さい。専門試験Ⅱ(論文)の見識論文では選んだ分野について解答していただくことになります。なお、**受験申請書類受理後の変更はできません。また、専門試験Ⅱ(論文)の見識論文で選んでいない分野について解答した場合、採点されません。**

・業績論文については、どちらの分野について解答しても構いません。

・試験科目免除を申請する方(特例適用を含む)は、「試験科目免除申請」欄の「試験科目免除を申請します。」にチェック(☑)してください。

・試験地は、「東京」、「大阪」の中から一つ選んでチェック(☑)して下さい。なお、**受験申請書類受理後の試験地の変更はできません。**

・勤務先は、**現在勤務している機関の部課名まで詳細に記入**して下さい。

・連絡先の**電話番号(Tel) およびメールアドレス(Mail)**は必ず記入して下さい。

・大学院を修了した方は、「最終学歴」の欄の**上段に大学院、下段に大学**を記入して下さい。

**事務局使用欄には記入しないで下さい**

事務局使用欄

到着確認日 月 日

【依頼日 月 日】 【期限 月 日】

受験申請書 有

主たる業績記載用紙 有

実務経歴

卒業証書

交付台紙 有

チェックリスト 有

受験申請書

その他

方法

※ここに事務局で使用しますので、記入しないで下さい

## (2) 主な業績記載用紙(必須)

主な業績記載用紙には、専門試験Ⅱ(論文)の業績論文で取り上げる業績(鉄道の設計に関する業務)について以下の例にならって記入してください。なお、訂正した箇所には申請者の訂正印を押して下さい。

### 主な業績記載用紙

勤務先(所属機関名)	〇〇電気鉄道株式会社
勤務先(部 課名)	△△部 □□課
氏 名	総研 太郎

・勤務先は、**現在勤務している機関およびその部課名を必ず記入**して下さい。

主 な 業 績 ※1	年 月※2	業績内容(自ら実施した設計、調査研究、開発等について具体的に記入して下さい)※3	立場(役割)※4
	2010年10月	輪軸自動検査手法の調査研究	調査研究担当者
	2018年4月	〇〇系車両情報伝送装置の開発	設計担当者
	2015年10月	低騒音パンタグラフの開発	開発責任者
	2020年4月	車両電子機器の故障防止に対する調査研究	総括責任者

・業績内容は、鉄道設計技士として相応しい内容(下の例を参照。)を記入して下さい。  
 ・**専門試験Ⅱ(論文)の業績論文で取り上げる業績は、必ず記入して下さい。記入されていない業績について論じた場合、採点されません。**

・立場(役割)は、役職名ではなく、当該業務での役割を記入して下さい。  
**例) 設計担当者、調査研究担当者、開発責任者、総括責任者**

- ※1 専門試験Ⅱ(論文)の業績論文で取り上げる業績を記入して下さい。記入されていない業績について論じた場合、採点されません。
- ※2 「年月」は西暦で記入して下さい。
- ※3 「業績内容」には鉄道設計技士として相応しい内容(p.11 参照)を記入して下さい。
- ※4 「立場(役割)」には、役職名ではなく、当該業務での役割(p.11 参照)を記入して下さい。
- ※5 主な業績記載用紙は1枚に収まるようにフォーマットを変更せず記載して下さい。

### 「業績内容」の例

業績内容には、自ら実施した設計、調査研究、開発等について線区や装置名を具体的に記載して下さい。

**例) 〇〇線〇〇踏切幅に伴う設計、〇〇系車両の台車設計、〇〇線〇〇高架橋の設計および施工管理、〇〇線〇〇変電設備の設計および施工管理、新型締結装置の開発、新しい列車制御システムの開発、低騒音パンタグラフの開発、車両電子機器の故障防止に対する調査研究**

### (3) 実務経験経歴証明書（2017（平成29）～2019年度に提出されている方は不要）

実務経験経歴証明書は、受験資格に対応した必要な実務経験年数を公的に証明するものです。一度提出すると翌年以降3年間有効です。2017（平成29）～2019年度のいずれかの試験結果通知はがきをお持ちの方で、同じ試験区分で受験される方は、その試験結果通知はがき（原本）を実務経験経歴証明書に代えることができます（試験結果通知はがきのコピーは認めません）。試験結果通知はがきの「経歴証明書」欄をご確認下さい。

① 証明権限を有する役職者(以下の例を参照)から公印による証明を受けて下さい。

- ・国の機関、都道府県、市町村：局長、部長、所長、場長以上
- ・公益法人：事務局長以上
- ・学校：学部長以上
- ・一般の会社：代表権限を有する方または代表権限を有する方から正式な手続きに基づいて証明権限を委譲された部長・課長等

**※ 受験申請者が証明権限を有する場合でも、上位の役職者がいる場合には必ず上位の役職者から証明を受けて下さい。ただし、受験申請者が法人代表者の場合には法人の代表者としての資格において本人の証明を行って下さい。**

② 必要な実務経験年数を満たすために、複数の法人等(現勤務先・出向元・出向先・転職前の法人等)での実務経験年数を加算する必要がある場合には、それぞれの法人等から当該法人での実務経験経歴について証明を受けて下さい(複数通提出することになります)。

※ 法人の統合や事業継承、名称変更等の場合は単一の法人とみなしますが、旧法人名とその変更年月日を現在の所属先の続きに明記して下さい。

③ 以下に該当する方は、それぞれの注意事項に従って証明書を提出して下さい。


- ・証明書の取り寄せが困難な場合(海外の法人または現存しない法人)  
当該法人等に在籍していた証明権限を有する方の証明をもって代えることができます。この場合、証明者の現職名・現住所を明記し、当該法人等において当時役員または責任ある立場にあった旨の宣書文を提出して下さい。
- ・日本国有鉄道での実務経験経歴を含める場合  
承継法人で証明を受けて下さい。
- ・個人経営の法人における実務経験経歴を含める場合  
関係官公庁または取引先の会社等、第三者から証明を受けて下さい。

・鉄道に関する業務（受験する試験区分の専門分野に限る。）に従事した期間（所属法人等の保守部門、工事部門または研究部門における設計対象に係わる期間を含む。）について、古いものから順に記入して下さい。なお、**鉄道の設計に係わる業務のみ**を記載して下さい。

**鉄道の設計に係わらない業務の記述や設計業務であることが不明瞭な記述があった場合、再提出を求めることがあります。**

### 実務経験経歴証明書

※「職務内容」には、鉄道の設計に係わる業務であることが分かるように、明確に記入して下さい。  
不明瞭な記述があった場合、再提出を求めることがあります。  
※ 証明法人以外での実務経験については含めない下さい。出向や転職などで複数の法人等に所属していた場合は、それぞれの法人等ごとに実務経験経歴証明書を取得して下さい。  
※ 「生年月日」、「在職期間の年月」は両方で記入して下さい。

氏名 総研 太郎 


生年月日  
19 年 月 日生

・「氏名」の欄には**印鑑を必ず押印**して下さい。

・在職期間の年月については、期間が重複したり、順不同になつたりしないようにして下さい。

在職期間			所属部課	職名	職務内容
年/月～年/月	年数	月数			
2012年4月～2015年10月	3	7	〇〇部△△課	主席	車両の保守を含む、〇〇改良工事の設計
2015年11月～2020年4月	4	6	××部□□課	副長	車両△△システムの開発
					以下余白
合計	8年	1月			

・職務内容は、**鉄道の設計に係わる業務であることが分かるように**明確に記入して下さい。「工程管理・計画・工事・保守」などの記述では設計業務かどうか判断できませんので避けて下さい。

上記のとおり相違ないことを証明する。  
2020年 7月 1日  
所在地 東京都〇〇区△△町□丁目×番◎号  
法人名 □□電鉄株式会社  
代表者名 〇〇支社長 国立 研太 

・証明権限を有する役職者の所在地・法人名・代表者名を記入して下さい。  
・**必ず公印を押印し、押印した日を証明日として下さい。**

※**修正液や抹線、私印で実務経験経歴証明書の訂正は認めませんので**注意して下さい。  
※過去の経歴で複数の法人等に所属していた場合は、その法人等ごとに**実務経験経歴証明書**を取得して下さい。



#### (4) 卒業証明書

(実務経験年数が12年以上または2017(平成29)～2019年度に提出されている方は不要)

卒業証明書は、「2.受験資格」(p.3)の学歴を公的に証明するものです。一度提出すると翌年以降3年間有効です。2017(平成29)～2019年度のいずれかの試験結果通知はがきをお持ちの方で、同じ試験区分で受験される方は、その試験結果通知はがき(原本)を卒業証明書に代えることができます(試験結果通知はがきのコピーは認めません)。試験結果通知はがきの「経歴証明書」欄をご確認下さい。

- ① 最終卒業学校で発行する**卒業証明書(原本)**を1部提出して下さい。「2.受験資格」(p.3)において、「(1)～(3)の各号に掲げる学歴と同等以上の学力を有すると認められた者」に該当する方は、その**証明書(原本)**を1部提出して下さい。実務経験年数が12年以上の方は、証明書は不要です。
- ② 卒業証明書の取得が困難な場合は、事務局までご相談下さい。
- ③ 結婚等による改姓により、現在の姓と異なる場合は、「戸籍抄本」を提出して下さい。
- ④ 最終卒業学校が大学院の場合、提出する卒業証明書は大学または大学院のどちらでも構いません。

#### (5) 振込明細貼付台紙(必須)

振込明細のコピー(インターネットバンキングの場合は振込明細または入出金明細をプリントしたもの。)を**振込明細貼付台紙に収まるように縮小コピーして**貼付して下さい。

なお、誤って原本を提出されてもお返しいたしません。

#### (6) はがき貼付台紙

はがき貼付台紙には、試験結果通知はがき(原本)を貼付して下さい。

**試験結果通知はがきは必ず原本を貼付して下さい。**

**※受験票での受付はできませんのでご注意下さい。**

#### (7) 提出書類のチェックリスト(必須)

提出書類のチェックリストは、必要な書類が揃っているかを受験者および試験事務局が確認するためのものです。提出書類をチェックリストにより確認し、提出書類と一緒にチェックリストも提出して下さい。

**※提出していただいた書類は、銀行の振込明細コピーを含め、事務局よりご返却・ご提示はいたしません。コピー等していただき、お手元への保存をお願いいたします。**



## 5.4 受験申請書類の送付

送付する受験申請書類は、**折らずに**封筒に入れて郵送して下さい。封筒には必ず「**受験申請書在中**」と**明記**して下さい。事故を防止するため**書留または簡易書留で郵送**して下さい。なお、郵送時の事故があっても、特別な対応は致しません。

## 5.5 受験票・写真票

- (1) 受験票・写真票は9月末に発送します。  
**10月2日になっても届かない場合**には、試験事務局へお問い合わせ下さい。
- (2) 受験票には、当日の注意事項が記載されていますので、必ず確認して下さい。
- (3) 受験票・写真票は受験する際に必要な書類です。必ず試験当日持参して下さい。
- (4) 試験監督員が試験開始後に受験票から写真票を切り離して回収します。
- (5) 試験当日、写真票に写真（3×4cm、脱帽・無背景・正面・上半身、3ヶ月以内に撮影したもの。写真の裏面には必ず氏名と受験番号を記入して下さい。）を必ず貼り付けて持参して下さい。

**写真を貼り付けていない場合や、本人確認が出来ない不鮮明な写真またはコピーなど写真以外のものを貼り付けている場合は、受験を認めないことがあります。**

	□□□-□□□□										
	東京都国分寺市光町 2-8-38										
総研 太郎 様											
<b>2020 年度 鉄道設計技士試験受験票</b>											
試験区分	<b>鉄道電気</b>	受験地	<b>東京</b>								
専門試験Ⅱ(論文) 見聞論文	<b>強電分野</b>										
受験番号	<b>B1000</b>										
<b>試験科目確認欄</b>											
共通試験・専門試験Ⅰ		専門試験Ⅱ(論文)									
<b>免除</b> (2021年度まで有効)		<b>受験</b>									
公益財団法人鉄道総合技術研究所 鉄道技術推進センター 鉄道設計技士試験事務局 〒185-8540 東京都国分寺市光町 2-8-38											
キブツノズ											
<b>2020 年度 鉄道設計技士試験写真票</b>											
受験番号	<b>B1000</b>	受験地	<b>東京</b>								
試験区分	<b>鉄道電気</b>	専門試験Ⅱ(論文) 見聞論文	<b>強電分野</b>								
氏名	<b>総研 太郎</b>										
<b>写真</b> 1) 受験申請前 3ヶ月以内 に上半身正面脱帽・背景 無地で撮影したもの 2) 寸法は 3cm×4cm 3) 裏面に氏名・受験番号を 記入すること 4) 鮮明な写真を貼付する こと	<b>※事務局使用欄</b>  <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">試験科目免除</td> <td style="width: 30%; text-align: center;">有 無</td> </tr> <tr> <td>共通試験</td> <td style="text-align: center;">出 欠</td> </tr> <tr> <td>専門試験Ⅰ</td> <td style="text-align: center;">出 欠</td> </tr> <tr> <td>専門試験Ⅱ(論文)</td> <td style="text-align: center;">出 欠</td> </tr> </table>			試験科目免除	有 無	共通試験	出 欠	専門試験Ⅰ	出 欠	専門試験Ⅱ(論文)	出 欠
試験科目免除	有 無										
共通試験	出 欠										
専門試験Ⅰ	出 欠										
専門試験Ⅱ(論文)	出 欠										
<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真を必ず貼付して下さい。</li> <li>・写真の裏面には、受験番号および氏名を必ず記載して下さい。</li> </ul>											

## 6. 受験申請後の注意事項

- (1) 受験申請書類が受理された後は、提出された書類および受験料は一切お返ししません。また、試験区分および試験地の変更はできません。試験区分で「鉄道電気」を選択した方は、専門試験Ⅱ(論文)の見識論文で解答する分野の変更はできません。
- (2) 受験の申請後、受験申請書類に記載した内容に変更が生じた場合(転居による住所変更など)には、鉄道設計技士試験のページ (<https://www.rtri.or.jp/gishi/>) から「住所・氏名変更届」をダウンロードし、必要事項を記載し、押印の上、試験事務局に郵送(書留または簡易書留)して下さい。また、結婚等による改姓があった場合には、「戸籍抄本」も提出して下さい。なお、これらの届出は遅滞なく、また正確に行わないと受験に支障をきたすことがあります。

**※提出していただいた書類は、銀行の振込明細コピーを含め、事務局よりご返却・ご提示はいたしません。コピー等していただき、お手元への保存をお願いいたします。**

## 7. 試験当日の注意事項

- (1) 試験当日には受験票および写真を貼付した写真票を持参し、机上の受験番号札の横に置いて下さい。
- (2) **試験会場の構内やその周辺は、駐車および駐輪禁止となっています。公共交通機関をご利用でご来場下さい。**
- (3) 会場周囲への迷惑とならないよう、試験会場には**開場時刻以降**に到着するようにご来場下さい。なお、開場時刻は受験票でご案内します。
- (4) 試験前に試験に関する注意事項を説明します。共通試験・専門試験Ⅰの受験者は**8時45分**までに着席して下さい。また、専門試験Ⅱ(論文)の受験者(試験科目免除対象者を含む。)は**13時15分**までに着席して下さい。遅刻した場合には入室を認めないことがあります。
- (5) **筆記用具、定規および電卓以外の使用は認めません。試験当日に使用が認められている電卓は、四則演算(+-×÷)、平方根(√)、百分率(%)および数値メモリのみに限ります。以下の機能がある電卓は使用できません。**なお、専門試験Ⅱ(論文)の受験時には、電卓は使用できません。

### 使用できない電卓

- ① **関数電卓、電子手帳、電子メモ、電子辞書、翻訳機能付電卓は、使用できません。**
- ② プログラムを組み込む機能や漢字、かな文字、アルファベット等による語句・文章・数式・方程式を記憶、または内蔵する機能を有するものは、使用できません。
- ③ 次に示すようなキーのあるものは、関数電卓またはプログラム機能を有しているので、使用できません。  
[sin] [cos] [tan] [log] [RUN] [EXE] [PRO] [PROG] [COMP] [ENTER] [COPY] [REPLAY]  
[P1] [P2] [P3] [P4] [PF1] [PF2] [PF3] [PF4]

- (6) 不正な手段を用いた受験者は、即刻退場していただきます。

- (7) 受験中は、携帯電話の電源を切って下さい。また、**携帯電話を時計代わりに使用することもできません**。受験中に携帯電話が鳴った場合は、不正とみなして退場していただく場合があります。
- (8) 試験会場では、試験監督員の指示に従って下さい。

## 8. 合格発表

- (1) **2021年1月22日(予定)**に、鉄道設計技士試験のページ(<https://www.rtri.or.jp/gishi/>)に合格者の受験番号を掲載します。また受験申請者全員に試験の結果を郵便はがき(試験結果通知はがき)で通知いたします。なお、試験結果および個人の得点に関する問合せには、一切お答えできません。
- (2) 試験結果通知はがきは合格発表にあわせて発送します。届かない場合には、試験事務局へお問い合わせ下さい。
- (3) 合格発表の後でも、不正手段を用いたことが判明した場合には、合格を取り消します。

## 9. 合格後の手続き

### 9.1 合格証明書の交付および名簿の登録手数料の納付

合格者は、試験結果通知はがきにて「合格」を確認した後、はがきに記載された指定口座に「合格証明書の交付および名簿の登録手数料」**5,000円**(消費税込)を振り込んで下さい。合格者全員に納付していただきます。また、本人を確認するための証明書類として、次に掲げる**いずれか一つ**を納付期間内に試験事務局へ郵送して下さい。詳細については、試験結果通知はがきをご覧ください。

- (1) 住民票 (**住民票はコピー不可。マイナンバーの記載されていないもの**、発行後3ヶ月以内のものに限る。)
- (2) 運転免許証のコピー(裏表)
- (3) 公的医療保険に加入していることを証する書類のコピー(健康保険被保険者証、共済組合被保険者証、国民健康保険被保険者証、または船員保険被保険者証)
- (4) 日本国籍以外の方は外国人登録証明書(ただし、上記のいずれかの証明書を持っている方は除く。)

### 9.2 合格者公開名簿の発行

合格者同士の技術的交流、および相互の情報交換等による技術能力の向上を目的として、合格者公開名簿を発行します。公開する情報は、登録番号、氏名、試験区分、所属法人・部署、連絡先等ですが、合格者の同意に基づいて記載いたします。詳細については、合格証明書送付時に同封する案内をご覧ください。

## 10. 不合格になった方への注意事項

- (1) 共通試験・専門試験Ⅰの合格者または試験科目免除者で専門試験Ⅱ(論文)に不合格になった場合  
2020年度の試験結果通知はがきは、はがきに記載された免除期間内に試験科目免除を申請する際に必要となりますので、大切に保管して下さい。
- (2) 共通試験・専門試験Ⅰに不合格になった場合  
2020年度の試験結果通知はがきは、「経歴証明書」欄の記事によって、実務経験経歴証明書および卒業証明書に代えることができますので、大切に保管して下さい。

## 公益財団法人鉄道総合技術研究所案内図



### 受験の申請および問い合わせ先

〒185-8540

東京都国分寺市光町 2-8-38

公益財団法人鉄道総合技術研究所

鉄道技術推進センター

鉄道設計技士試験事務局

TEL 042(573)7237

FAX 042(573)7486

鉄道設計技士試験のページ

<https://www.rtri.or.jp/gishi/>



